

特許検索システムに関する評価報告書

2010年3月

ジェトロ上海センター 知識産権部

JETRO

まえがき

中国市場の急激な発展する中、外資系企業の中国国内での、生産・販売・開発の強化対応は進んでおり、中国国内メーカーも、開発能力の向上に伴い専利権（特許・実用新案・意匠）の出願数が急激に増加しております。また、2009年10月にはと中国専利法が改正されました。

そのような環境下において、中国における知財部門の業務は、悪質化・巧妙化が進む模倣品の対策に加え、特許関連の業務も重要となりつつあります。

上海IPG特許WGでは、各社の特許実務に関する課題に関してヒアリングを行った結果、中国特許・実用新案の検索方法（どのような検索システムがあるのか・その特徴はなど）についての関心が高いことがわかりました。その為、中国国内で一般的に使用されている、いくつかの検索システムについて選定し、その特徴を調査することと致しました。

今回の調査は、各検索システムの単なる検索システムの比較にとどまらず、実際に使用者の立場にたって、検索機能・データの信頼性・特別な活用方法・費用等についても調査致しました。また、使用者がすぐに検索システムを使用できるように、検索システムごとにマニュアルの作成も致しました。

その為、本調査報告は、日系企業が中国で特許等の調査を行う際の検索システムの選定や実際の検索システムの使用において非常に有益なものになっているのでは考えます。

尚、本調査は、上海オンダ商標事務所への委託・協力より実施致しました。